



先般、日田ロータリークラブ創立四十五周年記念式典を
実行委員長として開催し、何
とか無事に終了することがで
きた。

今回は、記念事業として長
崎県立佐世保養護学校高等部
一年生掛屋剛志君のコンサ
トを行った。掛屋

君は視覚障害と知的
障害があり、こ
のほかにも障害が
あるのだが、音楽
に素晴らしい才能
があるという。

個性を 障害を



草野 義輔

庄巻は段ボールを使った演
奏だった。最初はリズムをと
っているだけか、と思ってい
たのだが、よく聴いていると、
驚いたことに音階ができてい
る。段ボールをこすったり、
たたいたりして見事に音階を
作り上げていて、それで「千
の風になって」を演奏したと
きはまさに感動の一言だっ
た。

障害のあるこ
とは健常者から
見れば不自由だ
ろう、と通常思
う。剛志君のお
母さんも最初、
わが子の障害に
責任を感じ、自

目が不自由なの

で歌詞などは記憶するしかな
い。作曲もするそうだが、楽
譜も暗記してしまうのか、な
どと考えているうちに演奏が
始まった。最初はピアノの弾
き語りによる「赤とんぼ」だ
った。きれいなボーイソプラ
ノで早くも彼の世界に引き込
まれていった。

殺まで考えたという。しかし
今では剛志君の障害を個性と
思えるようになったという。
このことにも感動を覚えた。

剛志君のコンサートは大分
県では初めてだったとのこ
と。よい機会がくれたこと
を喜びたいと思う。(昭和学
園高校理事長・日田市)